

北海道マラソン2022 活動報告

NTT東日本札幌病院 リハビリテーションセンター
高橋 歩



今年の北海道マラソンは3年ぶりの開催となりました。当日は理学療法士47名が医師や看護師と連携を取り救護業務にあたりました。これまでの北海道マラソンと大きく異なる点は、COVID-19感染対策が加わることでした。多くのランナーと接触するリスクがある中で自らが感染しない、広めない対策として、マスクやフェイスガードなど防護物品の活用だけでなく、ストレッチング等直接接触する場合は状態を観察し最小限で行うことなど、対応を話し合い決めていきました。この感染対策を含めた救護対応は、昨年札幌で行われた東京2020オリンピックのマラソン・競歩競技にて活動した経験を活かすことができたのではないかと考えております。

大会当日は気温・湿度ともにランナーにとっては好条件となり、医療従事者みなさんのご協力のもと大きな混乱もなく無事に終わることができました。来年度もランナーが安心して大会に臨めるよう取り組んでいきます。